

「愛顔(えがお)あふれる愛媛づくり」

令和3年度「知事とみんなの愛顔(えがお)でトーク」知事講話

開催日時：3.11.18(木)

開催場所：砥部町文化会館

皆さんおはようございます。中予地域の愛顔でトーク、御参加いただきましてありがとうございます。

【新型コロナウイルス感染症対応】

(現況)

本当にこの1年半の間は、コロナ対応が中心にならざるをえない状況が続き、県民の命を守るという最大使命の問題に県庁挙げてやっているところでありますが、それを行うと行動制限等々が発生しますんで、非常に経済面においては様々な制限がかかって、それぞれ皆さん御苦労されていると思います。

ようやく、要請事項御無理なお願いを多くさせていただきましたが、県民の皆さんがしっかりと受けとめて、行動に移していただいたことで、ここ最近では、愛媛県も、今日もゼロ発表で、4日連続で陽性確認ゼロというような状況が続いています。

(ワクチン接種と感染回避行動)

ただワクチン接種も、全県で大体2回目も80%を超える全国平均を上回るような接種率になってきておりますが、海外に目を転じますと、2回接種が70%を超えた国々でも、イギリス、或いはドイツ、或いはシンガポールでは、今現在、韓国も含めて感染が急拡大している状況であります。ワクチン効果によって重症化の症状は少なくはなっていますが、いわゆるブレイクスルー感染、抗体の力が弱まってくるということや、或いはもう感染回避行動を個人が全くしないという状況になると、感染は再び訪れるというふうな事例ではなかろうかと思っておりますんで、経済を動かすためにも、日常において、マスク着用や手指消毒、こうした感染回避行動は継続していくということが、例えばフランスなんかはマスク着用を呼びかけ続けてますんで、ドイツやイギリスと違って、感染が少ないんですけども、そういった事例を分析しますと、個人個人の感染回避行動を続けるということがいかに重要かっていうことを示してくれているような気がします。

昨日も、まだちょっと兆候とは言えないんですが、北海道で急に感染が増えているというふうなデータがニュースで流れておりましたので、年末年始を考えて、寒くなってくるこの時期がポイントになろうかと思っておりますので引き続き御協力をよろしくお願い申し上げます。

(経済支援策等)

また、それを気を付けながらも、経済を徐々に動かし始めるということで様々な施策を展開しております。国の方でも、何らかの大掛かりなことをやるというふうな方向が示さ

れていますが、先週県の方でも、年を冬を乗り越えるために、飲食店については認証制度を取得する後押しをさらに行うという方向。それから、時短要請を受けてない飲食店について、さらにはその他の中小企業や個人事業主について、県の方から応援金の第3弾を行うということ。そしてなかなか目が行き届かなかった私学、学校の私学へのバックアップや、非常に苦しんでいる輸送事業へのバックアップや、県でできることもどんどんやるというような方向を打ち出ささせていただきました。今制度設計をしている最中でございます、12月議会には予算を提案する予定でございます。

非常に厳しい状況が続きますが、特に今の事業については、前年と比べて売り上げが減少したところについてバックアップをするというふうなことで、公平性ということを十分に考えた上で行っていきたいというふうに思っています。

ただ一方で、それら以外の課題については、同時並行して着手をし続けなければなりません。防災減災対策しかり、福祉、教育、或いは環境、観光、こうしたところにも十分な目配りをしながら、県の全体の未来に向かっての足取りをしっかりと行っていきたいというふうに思います。

(アフターコロナを見据えて)

今日は限られた時間でありましてけれども、それぞれ、コロナ禍でいろんな問題が出たり、或いはその中で未来志向の提案を考えられたり、それぞれのお立場、いろいろだと思っておりますけれども、忌憚のない意見交換の中から、また我々の政策にも生かすようなアイデアが頂戴できたらというふうに思っています。

特に、1年半もコロナ禍での生活が続きますと、そのあと、元に戻るとは到底思えません。人々の価値観、生き方、働き方、ライフスタイル、あらゆるところで変化が生じる未来型、次なる時代の訪れというものを考えながら進めていく必要があるんだろうなというふうに思っています。その中で、求むべき人材像も変わってくるでしょうから、人材育成も含めて、アフターコロナを見据えた政策の展開というのが未来を考える鍵を握るだろうと思っておりますので、また皆さんからアイデアを頂戴できたらというふうに思います。

限られた時間ですけど今日はよろしく願いいたします。